

住民居住地区近隣への新施設整備

断固反対

防錆整備格納庫移設計画

令和4年5月25日に、米軍第18航空団から、住民地域に程近い一角（通称・パパーループ）に、航空機のサビ防止のための塗装施設を建設するという説明がありました。當山宏町長は、説明があったその場で断固反対と表明しました。

説明の際ははまだ施設整備のための予算はついておらず、あくまで計画であるというものでありましたが、後日、米国下院で予算が承認され、2027年（令和9年）完成予定で同計画が本格的に進捗しているとマスコミにより報じられました。

嘉手納町では様々な角度から調査を進めつつ、7月14日の沖縄防衛局、外務省沖縄事務所への要請を皮切りに、米軍第18航空団など関係各所へ計画の撤回を求めて要請行動を行ってきました。

また、嘉手納町民で構成される嘉手納町基地対策協議会においても、8月5日に開催された令和4年度定期総会で「防錆整備格納庫移設計画に断固反対し計画の即時撤回を求める決議」が承認されました。



防錆整備格納庫移設計画に関する動き

(令和4年8月31日現在)

月日	事項
5月25日	第18航空団司令官より、防錆整備格納庫移設計画等について説明があった。同計画について、町長よりその場で「町としては認められない」と反対の意思を示した。
7月14日	沖縄防衛局長、外務省沖縄担当大使へ防錆整備格納庫移設計画撤回を求め、要請を行った。
7月19日	嘉手納町議会が「パパーループ地区内への防錆整備格納庫移設計画の即時撤回を求める意見書・決議」を全会一致で可決。
7月21日	防錆整備格納庫移設計画撤回を沖縄米国防領事へ要請。
7月29日	同件について第18航空団司令官へ要請。
8月5日	嘉手納町基地対策協議会令和4年度総会において「防錆整備格納庫移設計画に断固反対し計画の即時撤回を求める決議」が承認された。
8月8日	町民からの情報提供により、パパーループ内防錆整備格納庫移設計画米側提示の移設先にて何らかの工事が実施されているのを確認。9日に、米側の情報により工事は文化財調査のためのものであると判明。
8月10日	上京し、防錆整備格納庫移設計画及び嘉手納基地に関する諸問題について要請。
8月13日	文化財調査が防錆整備格納庫を建設する準備作業であると国防総省が認めたと報道された。
8月19日	文化財調査の即時中止を求めて、外務省沖縄担当大使へ要請。併せて町基地対策協議会も決議書を提出。また、同日付で、第18航空団司令官及び沖縄米国防領事へ、文化財調査に対し抗議文を郵送。
8月24日	同件について沖縄防衛局長へ要請。併せて町基地対策協議会も決議書を提出。
8月31日	嘉手納町議会が「パパーループ地区への防錆整備格納庫移設を前提とした文化財調査を即時中止し、移設計画の撤回を求める意見書・決議」を全会一致で可決。

このような中、當山町長は8月10日に、岩本剛人防衛大臣政務官、深澤雅貴防衛省地方協力局長、市川恵一外務省北米局長のもとを訪れ、「嘉手納基地に関する諸問題」について定期要請を行いました。定期要請の際には、町からの要請だけではなく、嘉手納町基地対策協議会の決議書も外務省及び防衛省へ手渡し

ました。これまでの定期要請では、嘉手納飛行場における騒音や悪臭等の基地被害全般について要請を行っています。今回は突如として持ち上がったパパーループ地区への防錆整備格納庫移設計画の撤回を求める要請をメインに行いました。



令和4年度嘉手納町基地対策協議会総会を開催
8月5日 北区コミュニティーセンター

岩本政務官からは、「施設の詳細を確
認しているところである。町の懸念は理
解している。その懸念を取り除くよう最
善の努力をしたい。取り組みを急がせた
い」との語がありました。また、深澤防衛
省地方協力局長からは「町の懸念をしつ
かり踏まえて同計画の詳細を求めて米
側とやり取りをしているところである。
本省・地元レベル、米国防総省とのやり
取りを行っている。地元の見聞も聞きな
がら影響を最小限にするよう努力して
いきたい」との答弁がありました。

市川外務省北米局長からは「住民の不
安は十分理解している。米側には地元の
不安を伝えて防衛省とも連携しながら
対応していきたい。住民の理解あつての
日米同盟であるので、米側にも働きかけ
ていきたい」との語がありました。国の
機関については各所とも懸念事項・事



深澤雅貴防衛省地方協力局長へ要請内容を説明



市川恵一外務省北米局長へ要請内容を説明



富山町長と岩本剛人防衛大臣政務官

嘉手納基地に関する諸問題 定期要請事項

重点要請事項

1. 嘉手納飛行場における航空機騒音規制措置の厳守について
2. 第353特殊作戦航空団駐機場等拡張整備計画に伴う通称パバループの使用の禁止について
3. 早期警戒管制機E-3の駐機場の移転等について

その他要請事項

外務省、外務省沖縄事務所、防衛省、沖縄防衛局（共通）

1. 航空機騒音対策について
2. 基地負担の軽減等について
3. 早期警戒管制機E-3の駐機場の移転等について
4. 航空機事故等の防止対策について
5. 基地内訓練等による被害の予防対策について
6. 環境汚染等について

防衛省、沖縄防衛局

1. 航空機の騒音及び排気ガス等の予防対策について
2. 特定防衛施設周辺整備調整交付金の増額について

の緊急性を十分理解しているように感
じられました。

一方、米軍関係に関しては、7月には
沖縄米国防総領事及び第18航空団司令官
を訪れ、防錆整備格納庫移設計画は到底
認められないとして、計画の即時撤回を
訴えたにもかかわらず、8月初旬から防
錆整備格納庫の移設先とされる地域で
文化財調査が行われていることが発覚
しました。

町の要請を無視して文化財調査が行
われていることに対し、8月19日に第18
航空団及び沖縄米国防総領事へ「断じて容
認できない」と文書で抗議しました。ま
た、19日に外務省沖縄事務所、24日に沖
縄防衛局を訪れ、改めてパバループへの
防錆整備格納庫移設を前提とする文化
財調査の中止及び移設計画の即時撤回
を強く求めました。